

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	南九州市茶業振興会
役職	
氏名	窪 拓摩
着任日	令和3年2月1日

活動月	令和6年1月(着任3年0ヶ月)
主な活動	1. 茶最盛期に向けた人材派遣の説明会を実施！ 2. 外部企業との連携、ブランディングづくりの商談 3. 地域を超えた情報交流への注力、その他

1. 茶最盛期に向けた人材派遣の説明会を実施！



写真: 人材派遣での海外からの働き手について説明(YUIME(株)様)

当月下旬に、数ヶ月以上のワーカーを雇用希望する茶工場への人材派遣会社説明会を実施しました。これは、当市の基幹産業かつ日本一のお茶のまち(産地賞4連覇中/市町村単位で日本一の生産量)として、直近で取組を強化しなければならない「労働力不足」をサポートする目的のもと、ここ数年進めてきました。

茶工場全体からのご意見の中には、雇用すると仮定した際の時給換算をし、「賃金が高い」というコメントも上がっていましたが、毎年世界各国から働き手を探し、日本で働くためのビザを取得し、現地までのサポート、現地での慣れない生活をサポートするなどの見えない部分も人材派遣会社にはフォローいただけると考えると、トータルコストでは賃金以上のリターンが大いにありと考

地域おこし協力隊活動報告書

えます。現に、今回説明会にご参加いただいた茶工場の方々は、こういった見えない苦勞をご理解されているからこそ、ご採用までを計画されているのだと感じます。

現在、日本各地での一次産業のお仕事をされている海外からのワーカーの多くは「技能実習生」という形で現場に従事しております。今後「技能実習生」制度の廃止が決定している中で、新たな制度「特定技能1号/2号」の資格を持つ方々のみが茶の生産現場に従事いただけるということで、非常に心強く感じており、今回の取り組みが今後も継続していけたらと考えるばかりです。

2. 外部企業との連携、ブランディングづくりの商談



写真:ティーツーリズムの様子(はるとなりにて)

二日間、知覧茶の産地を紹介しながら、食文化などにも触れるティーツーリズムのサポート業務を実施しました。私自身、SNSの発信業務を強化する中で、DMやコメントで観光について深く知りたい、知覧茶を体験できるところを教えて欲しい、といったお問い合わせを多数いただきながらも、受け入れ先が見つからず、なかなか具体的な実施までのお話しをすることができないケースを多数経験しており、今回のティーツーリズムが開催できたことは、地元事業者の連携ができ、需要に答える結果を生み出したのではないかと強く感じました。

私も数年前に当市へ移住をしてきた身として、ローカルが「日常、ありふれた光景」という視点にこそ、ソトからの「非日常、特別な光景」という需要が潜んでいると考えます。

3. 地域を超えた情報交流への注力、その他



写真:(左)市の垣根を超えた南薩エリアでの魅力発信/(右)茶の新たな発信 ほうじ茶体験

先述のティーツーリズムの時間の中で、地元食材を使用してつくられたお食事をお召し上がりいただいたり、南九州市だけでなく、指宿市や枕崎市など南薩エリアの食材を紹介するコーナーがあり、海外ご出身の方々はもちろんのこと、鹿児島県民でも知らなかったローカル情報と触れる機会に、非常に多くの反響をいただきました。

今回の企画で動かれていた講師の方々は、県外からの移住者と生まれも育ちも地元という方が入り混じり、様々な視点での魅力を発信されていて、非常に面白いなと感じたところです。

私の担当としては、茶の新たな発信として煎茶(せんちゃ)からローストをかけ、ほうじ茶をつかっていくワークショップの講師として入り、コーヒー文化やお酒の文化を知っている方々に、イメージをしやすい発信内容を心がけワークショップを進めていきました。

お好みの火入れによって味や香りが変化するこのワークショップを体験いただき、茶を通じて初めましての方々でも、お互いがつくった茶を飲み比べてみたりと、コミュニケーションを取られている姿が印象的で、新たなポテンシャルを感じました。

以上簡単ではございますが、当月の報告といたします。



南九州市
Minamikyushu City